

題 地域産業の担い手育成プロジェクト
所属 埼玉県立熊谷工業高等学校
氏名 吉野博行

1 はじめに



本校は、大正9年に熊谷商業学校として設立され、昭和32年埼玉県立熊谷商工高等学校となる。昭和41年分離独立し、本年で44周年を迎える歴史と伝統を誇る工業の専門高校である。また、埼玉県北部を中心に14,000名近くの卒業生は、産業界を中心に様々な分野で活躍している。現在、建築科(1クラス)・土木科(1クラス)・電気科(1クラス)・機械科(2クラス)・情報技術科(2クラス)の1学年、7クラス規模の専門高校である。

2 実践報告

- ・目的：工業高校と地域産業界が連携し、地域のものづくり等の地域産業の担い手を育成するための取組を実施する。
- ・研究指定校：4校
(大宮工・川口工・狭山工・熊谷工)
- ・熊谷地域推進協議会：
(企業+商工会議所+熊谷工)

1 生徒の現場実習(見学以外)

(1) インターンシップ

対象：第1学年全員271名必修
日程：H22.1.26～29(4日間)
受入先：協力企業数119社

(2) 熊工版「デュアルシステム」(継続型)

対象：建築科(3年)希望者
期間：H21.6.3～H22.1.21(21日間)
受入先：清水昭治設計事務所
対象：情報技術科(2名)希望者
期間：H21.6.3～H22.1.21(26日間)
受入先：(株)シード

(3) 熊工版「デュアルシステム」(集中型)

対象：建築科(1名)
期間：H21.7.21～8.27(29日間)
受入先：白根工務店



木造住宅の建前

2 生徒の現場実習(見学)

- ・キャリア探索プログラム
NEC埼玉、大正製薬(株)、コカコーラ
- ・コラボさいたま2009
村田製作所(株)
- ・工場見学
積水ハイム、東武車両工場、電力館、滝沢ダム、浦山ダム、富士重工業、キャパセラ三菱、羽田飛行場、パナソニック東京等

3 技術者等による実践指導

- ・工業教育実践導入事業



09技能検定3級(旋盤)6名合格

- ・スペシャリストに学ぶ事業の協力企業
東京電力(株)、日産ディーゼル工業、(株)ケーゲーム、(株)交通建設、藤原設計事務所、鯨井工務店等

4 教員の高度技術習得先

ETロボコン技術研修会、小松製作所、NECエレクトロニクス、シコム、フジクラ情報配線施工技能等

5 その他の活動



地域座談会

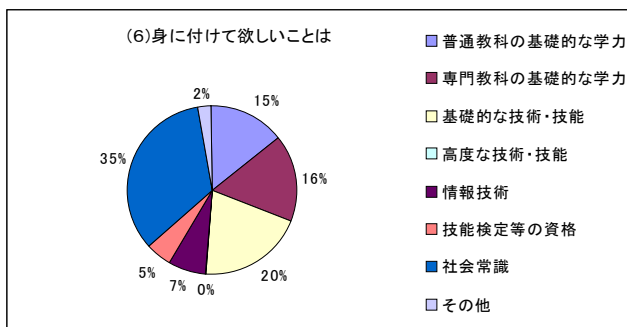


中学生プログラム教室

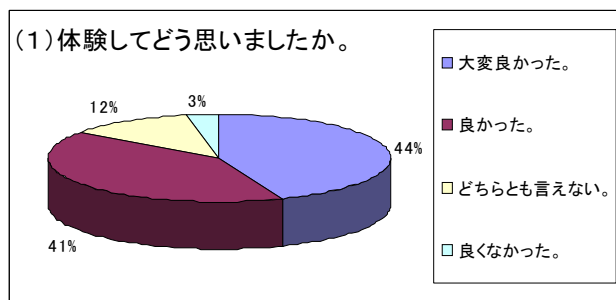
3 アンケート結果

1 企業に対するアンケート（協力企業 84 社）

- (1) デュアルシステムの受け入れは？
- (2) 企業技術者等による特別授業は？
- (3) 教員の企業研修は？
- (4) 高校との情報交換会については？



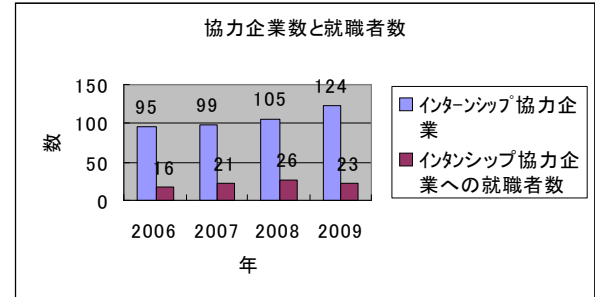
2 生徒に対するアンケート



- (2) 実施に日数は？
- (3) この事業で学んだことは？
- (4) 働くことの目的は？

4 まとめ

1 インターンシップ協力企業と就職者数



2 「デュアルシステム」の参加者数

| | 継続 | | 集中 | 合計 |
|----|----|----|----|-----|
| | 建築 | 情報 | 建築 | |
| 09 | 1 | 2 | 1 | 4 |
| 08 | 1 | 1 | 3 | 5 |
| 07 | 1 | — | 2 | 3 |
| 06 | 5 | — | — | 5 |
| 計 | 8名 | 3名 | 6名 | 17名 |

3 「デュアルシステム」体験後の進路

- ・継続型 11名の参加者のうち、10名は指定校推薦やAO入試を利用し進学先を決めた。
- ・集中型 6名の参加者のうち、工務店を中心に4名が就職先を決定した。その他2名は高等技術専門校へ進学し、大工技術の習得を目指している。

4 生徒の現場実習（見学）

県単事業や学校行事（工場見学、遠足）を利用し、年間1回程度の事業所の見学を実施する。

5 教員の高度技術習得

各学科の状況に合わせて参加する。

6 その他の活動

学校開放やPTA活動と協力し実施する。

5 終わりに

- ・インターンシップ、「デュアルシステム」を実施する上での問題点？
- ・インターンシップ、「デュアルシステム」を実施する上での良い点？
- ・インターンシップは進路選択の助けになりますか？
- ・高度熟練技能者等による実践指導の導入するためには？
- ・専門高校における地域連携とは？